



社報「志氏」第129号

志氏神社
四日市市大宮町14-6
TEL・FAX(059)331-0620



印刷所 水九印刷(株)
責任者 社報編集委員会



除夜祭 大かがり火 点火式



初詣



新年ご祈祷

・大祓式 12月25日 9時～16時

人も車も大祓して新年を迎えましょう!

・歳旦祭 1月1日 10時より

かがり火で、無病息災を!

・初詣 1月1日～7日

氏神さまに新年のごあいさつ!

・古札焼納祭 1月15日 9時～15時まで

(どんど焼)

古いお札に感謝の心を!

・節分祭・厄除祭 2月3日・6日 9時～15時

祓之宮で厄除御祈祷を!

各種祈禱受付 (ご予約願います)

○新年祈禱

新しく年を迎え、今年一年を無事息災で清々しい気持ちで安全に過ごすことが出来るよう諸々の新年祈禱を元日より承っております。特に、厄除は年始より節分までに済ませるのが良いとされております。



◆新年安全祈願祭

一年の工事や作業、業務などの安全を願い、事業、商売の成功を祈念するお祭りです。また、新しい一年をご家庭の皆様が健康で幸せに過ごせますようお願いする新年家内安全の御祈願も承ります。

◆厄除

厄除は「前厄・本厄・後厄」とあり、男性42歳と女性33歳は厄年の中でも一生の大厄とされています。不幸や災難を避け、「厄」が転じて「福」となりますよう、御祈願致します。

◆合格祈願

心身健全に勉学・研究に励み、入学試験や国家試験、採用試験や資格・就職試験などのさまざまな目標が達成できますように、ご神前にて合格祈禱をご奉仕致します。

◆家内安全

家庭の平安を祈願するお祭りです。

◆交通安全・車祓

お車を替えられた時等の交通安全を祈るお祭りです。

◆初宮参り

子供が無事に誕生したことを氏神様に報告・感謝し、子供の健康と成長、今後のご加護をお願いするお祭りです。

◆病氣平癒

病、怪我を患っている方の回復を願うお祭りです。

◆除災招福・心願成就・開運道開き

種々の災いを取り除き、願いが叶い、幸福を招くお祭りです。

地鎮祭は氏神様で

私たちが住んでいるのは大地の上であり、その大地は万物を育み命の糧をいただく大切なところ。その大地を使わせていただくため、建物を建て土木工事を行うにあたり、その大地をお守り頂いている神様をお迎えし、神々の恵みに感謝し、土地の平安と工事の安全を祈念する祭儀です。



編集後記

今年も残念ながら、秋祭りの獅子舞神事と子供みこしは中止となってしまいました。地域の伝統行事でもあるこの二つが二年続けて中止せざるを得ないことが残念でなりません。一日でも早いコロナ感染症の終息を願うばかりです。

志氏神社ではコロナ感染症が始まった昨年、地域の方々の皆様の安心と安全を願って宮司による毎朝のご祈禱が続けられています。

また、お参り下さる方も増えてきており、地域の皆様も、長引くコロナ禍の中で、平常な日々が早く来ることを願っておられることと思います。

氏神様にお参りいただいて、皆さんと共に平穏な日々をお願いしましょう。

人も車も大祓式を

年越の大祓式

12月25日

午前9時より
午後4時まで

私たちや、私たちの車が、知らず知らずのうちに過ち犯しました罪や穢を、きれいさっぱりと祓い清める大祓式をとり行います。ぜひ当日ご参拝いただき、身についたり、車についた穢を祓い清めて、清々しい気持ちで新しい年を迎えましょう。

車形の形代には、住所・氏名・車番号を記入し、人形と同じように車の罪・穢を形代に移してください。

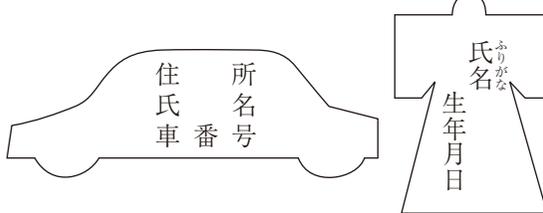
○御祈禱について

罪や穢を移していただいた人形・車形は、当日神社へお持ちいただくか、町内の担当の方にお渡しください。

○人形と車形について

身代りとして「人形」と「車形」をお配りしています。人形の形代には、ご家族の名前と生年月日を書き、息を三度吹きかけて、一切の罪や穢を形代に移していただきます。

男子 白色の人形
女子 赤色の人形
氏名にはふり仮名をおつけください。毎年皆様の名前を全て、神前にて読み上げるとの御祈禱しております。

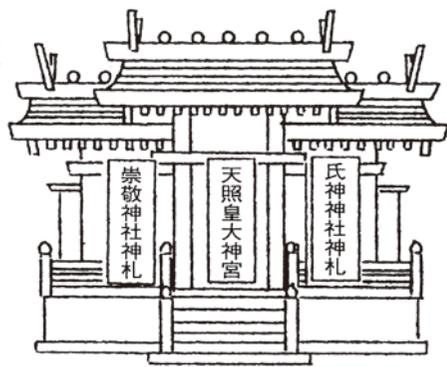


また社頭に設けた「茅の輪」をくぐって祓い清め、更には「忌火」で焼き上げいたします。

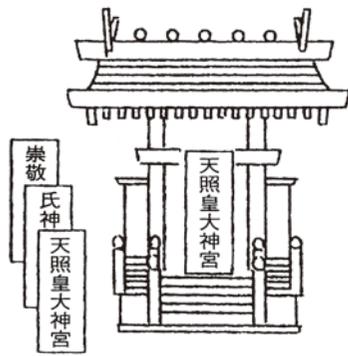


◆神札のまつり方

神棚は南向きか東向きが良いとされ、その家の中で神さまがお鎮まりになる所ですから、明るく清らかで目線より少し上の位置に設けるのが良いでしょう。



三社造りの場合



一社造りの場合

氏神さまってどんな神さま？

○氏神さまは、私たちが住む地域を守ってくださるその地域の祖先神であり守護神です。お祀りされている神さまは神社によってさまざまです。



なぜ神宮大麻をおまつりするの？

家庭の神棚に神宮大麻の「お神札」とともに氏神大麻をおまつりするのでしょか。それは私たちの住むこの日本が、皇室の祖神である天照大御神の御神徳によって秩序づけられ日々発展しているからです。日本人のこうした生活習慣は、私たちの先祖からの貴重なメッセージでもあります。心豊かな生活は、神さまとの日々の会話から始まります。

○お神札は神様を仰ぐ「みしるし」です。お神札をいただいたら家庭の神棚におまつりします。神さまと毎日生活を共にしているという気持ちが家庭に心の安らぎをもたらします。

日本人の清く明るく心は、毎年改まる神宮大麻と氏神さまのお神札から育まれるのです。毎年新しいお神札を受け、清らかな一年を過ごすことを心がけましょう。

○伊勢の神宮にお祀りされている天照大御神は、私たちの生命を守る太陽の神さまであり、皇室の祖神であり、神宮は、私たち日本人の「総氏神さま」とも呼ばれています。神宮のお神札は、「神宮大麻」と呼ばれ、氏神さまである「志氏大麻」と崇敬神社のお神札と一緒に祀りしましょう。

当地区では年末に神職が神社総代と共に各戸をお訪ねしてお清め祓いをして頒布してまいります。留守のお宅はお手紙を置いてまいります。後日、神社へお参りの上、社務所にてお受け下さい。新しいお神札は神宮大麻、志氏大麻合わせて二千円の御初穂料です。

七五三縄頒布

12月25日～30日

9時～16時

七五三縄をお求めいただいて明るい正月をお迎え下さい。

●神具は一年中取り扱っています。

神社行事

○例祭秋祭齋行 十月十七日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本年の子供みこし、夕刻の獅子舞・巫女舞の舞台奉納をはじめとした各種催事は誠に残念ながら中止させて頂きました。各町の有志により、拜殿前の提灯、南参道、西参道の木のほりをあげて頂きました。

祭典は諸対策を講じ、十七日十時より齋行させて頂きました。舞台奉納は中止となりましたが、祭典では巫女の皆様による浦安の舞の御奉納頂きました。コロナ禍で十分な練習が行えない中でしたが、素晴らしい舞を御奉納頂きました。今後十一月の新嘗祭、翌年二月の祈年祭でも奉納頂きます。羽津地区の弥栄とともに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息をお祈り申し上げます。



浦安の舞 奉納
巫女募集中!
(令和六年度小学六年)



合格祈願と羽津の天満社

志氏神社では年末年始にかけて合格祈願をお祈りされる方がみえます。心身健全に勉学に励んでいただき、入学試験や国家試験をはじめ、採用試験や資格・就職試験などの様々な目標が達成できますように、大神様に合格祈願をお祈りいたします。

合格祈願といえば、学問の神様である菅原道真公を主祭神としてお祀りする天満宮へお参りされる方が多いかと思われませんが、当社でも天神様をお祀りしておりますのはご存知でしたでしょうか。以前は羽津地区の宇天神(現在の羽津山町)にてお祀りされておりました天満社を、現在志氏神社境内社の須賀社(御本殿右側御垣内の社)にて合わせてお祀りしております。コロナ禍にて遠方への合格祈願のお参りが難しいようであれば、津の天神様にお参り下さい。そして願いが叶った際にはお礼参りをお忘れなく。



柄杓を使わない手水の作法

- まず、両手を出し手を清めます。
- 次に、水を両手で受けます。
- 手にためた水で口をすすぎます。
- 最後に、もう一度両手を清めます。

これからの神社行事 祝日には国旗を掲げよう

令和3年	12月中	御神札の町内頒布
	12月25日	年越の大祓式
	12月31日	除夜祭
令和4年	1月1日	歳旦祭
	7日	初詣
	1月15日	古札焼納祭
	2月3日	節分祭
	2月6日	厄除祭
	2月11日	建国記念の日
	2月17日	祈年祭
	2月23日	天皇誕生日

もつと知ろう!

志氏神社

四泥の御神木

志氏神社の御神木は、社務所前に樹齢数百年と伝えられる椎の木がございます。当社の志氏神社古墳は意富伊賀都命の墳墓とされる前方後円墳で四日市指定文化財です。前方部は参道・社務所建築等により取り壊されていますが、この御神木が前方部突端部に位置するとされます。御神木の側には万葉集収録の歌碑がございます。聖武天皇の従者である丹比家主真人が妻の無事を祈った歌とされています。



古くより四泥能崎の霊木として自生する椎の太木は根元から二本の幹が伸びる双幹の樹形で、互いに寄り添う姿となっております。当社の大神様の御神徳でもある夫婦円満、良縁成就、健康長寿の御利益をさずかることも伝わり普段から皆様にお参り頂いております。

日供祭とコロナ早期終息祈願

志氏神社では毎朝日供祭を執り行っております。私たちが毎日食事をするように、神様にもお供え物をお召し上がりいただき、日々の氏子・崇敬者の安寧を祈るお祀りです。伊勢の神宮では日別朝夕大御饗祭が毎日執り行われています。江戸時代以前は一日二食が日本人の食生活であったため、その伝統が引き継がれ、今でも神様のお食事は朝夕二食とされ、神宮では毎日二回御奉仕されています。

当社ではこの日供祭にて昨年よりコロナウイルス早期終息祈願の祝詞を奏上し、毎朝羽津地区の皆様のご健康をお祈りさせて頂いております。日本の歴史を振り返りますといつの時代も神様に疫病の鎮静の祈りを捧げてきております。科学、医療が未発達な時代に於いてその願いは切実なものであったことでしょう。古くは古事記、日本書紀にて崇神天皇が疫病を鎮める祈りが記されています。また現代でも受け継がれる祇園祭や大祓の茅の輪くぐりにも疫病退散の祈りがこめられています。手を合わせ、日々祈ることと私たちの心や行動も整うこととしましょう。ぜひ神社やご家庭のお神札をお参りして、平穏な生活をお祈りしましょう。



年末年始も密をさけて 安心のご参拝を

変わらない祈りのために

時期をずらそう

初詣は密になることが予想されます。三が日等にこだわることなく時期をずらして参拝しましょう。

距離を保とう

人と人との距離を十分に保ちながら、お参りしましょう。距離がとれない場合は、会話をできるだけ控え、静かにお参りしましょう。

マスクを着用しよう

神社境内では、マスクの着用をお願いします。

混雑を避けよう

お神札やお守りは授与所が空いている時にお願います。



節分祭 2月3日(水)

厄除祭 2月6日(日)



令和4年 厄年の年齢

いずれも数え年ですが
満年齢の方も承ります

・男性の厄年・

前厄	本厄	後厄
24歳 平成11年 生まれ 1999年	25歳 平成10年 生まれ 1998年	26歳 平成9年 生まれ 1997年
41歳 昭和57年 生まれ 1982年	42歳 大厄 昭和56年 生まれ 1981年	43歳 昭和55年 生まれ 1980年
60歳 昭和38年 生まれ 1963年	61歳 昭和37年 生まれ 1962年	62歳 昭和36年 生まれ 1961年

・女性の厄年・

前厄	本厄	後厄
18歳 平成17年 生まれ 2005年	19歳 平成16年 生まれ 2004年	20歳 平成15年 生まれ 2003年
32歳 平成3年 生まれ 1991年	33歳 大厄 平成2年 生まれ 1990年	34歳 平成元年 生まれ 1989年
36歳 昭和62年 生まれ 1987年	37歳 昭和61年 生まれ 1986年	38歳 昭和60年 生まれ 1985年
60歳 昭和38年 生まれ 1963年	61歳 昭和37年 生まれ 1962年	62歳 昭和36年 生まれ 1961年

方位除け 黒星の方に開運祈願の御祈禱を致します。

八方塞がり(五黄土星)

昭和25年生まれ(73歳)	昭和34年生まれ(64歳)	昭和43年生まれ(55歳)	昭和52年生まれ(46歳)
昭和61年生まれ(37歳)	平成7年生まれ(28歳)	平成16年生まれ(19歳)	平成25年生まれ(10歳)

※2月3日・6日以外に御祈禱をご希望の方は社務所までご予約下さい

志氏神社 電話 059-331-0620

R4年

どんど焼き

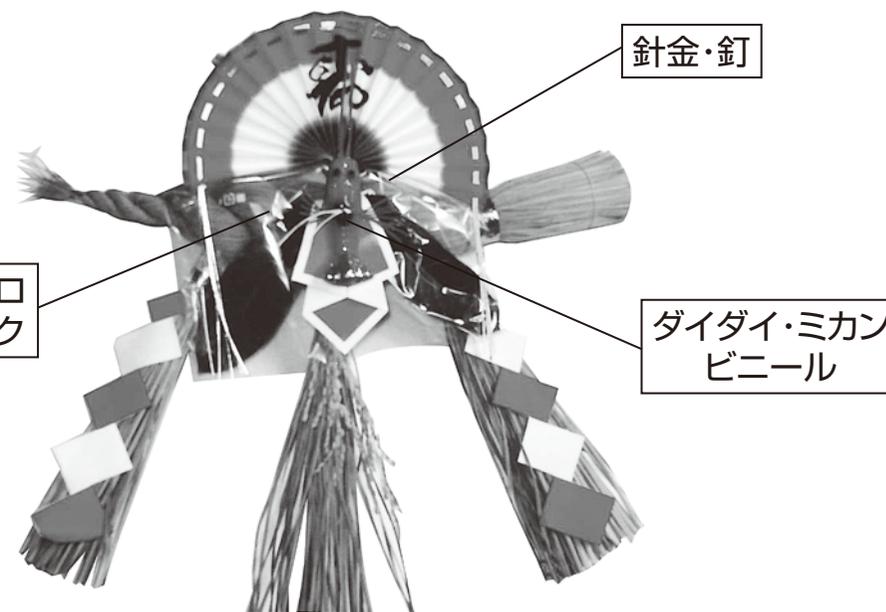
1月15日(土) 9時~15時まで

暦(こよみ)では1月1日~14日までを松の内といい、
小正月15日にどんど焼きをします。

ご注意

注連縄(しめなわ)

みかん・えび・ダイダイ・プラスチック・釘・
針金・陶器は分別して市のゴミ収集時にお出
し下さい。



神棚・神具類

ガラス・陶器・干支陶器等は壊して市のゴミ収集時にお出し下さい。

ビニール袋・化学繊維

マスコット・ぬいぐるみ・生もの(餅・柿等)は持ち帰って
いただきます。お宮ではダイオキシン等の発生防止の為、環境に
配慮しております。

皆様のご協力を是非ともお願い致します。